

## 第62回 全日本教職員バドミントン選手権大会要項 大分県内用

1. 主催 公益財団法人日本バドミントン協会 日本教職員バドミントン連盟
2. 主管 北海道バドミントン協会 北海道教職員バドミントン連盟
3. 後援 スポーツ庁 北海道 北海道教育委員会 公益財団法人北海道スポーツ協会 札幌市  
札幌市教育委員会 一般財団法人札幌市スポーツ協会
4. 期 日 令和5年8月22日(火)～令和5年8月26日(土)  
・研修会 令和5年8月22日(火) 午後1時30分～  
・代表者会議・総会 令和5年8月22日(火) 午後3時～  
・開会式 令和5年8月22日(火) 午後4時～  
会場 『北海道立総合体育センター北海きたえーる・講堂視聴覚室』  
〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条1丁目1番1号 Tel 011-820-1703
5. 開催地 北海道札幌市
6. 競技会場 令和5年8月22日(火)～令和5年8月26日(土)  
北海道立総合体育センター北海きたえーる  
〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条1丁目1番1号 Tel 011-820-1703
7. 種 目 団体戦： 男子・女子・男子成壮年・女子成壮年・ハイパーエイジの5種目の都道府県対抗とする。  
ただし、都道府県から各種目1チームとする。なお、開催県は2チームまで参加できる。  
個人戦： 一般の部（男子・女子の各単複）  
年齢別の部  
（男子12種目 30歳以上・40歳以上・50歳以上・60歳以上・65歳以上・70歳以上の各単複）  
（女子8種目 30歳以上・40歳以上・50歳以上・55歳以上の各単複）  
なお、都道府県からの参加制限は行わない。
8. 団体構成 (1) 男子・女子の1チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手5～7名とする。  
(2) 男子成壮年・女子成壮年・ハイパーエイジ(男子)は、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手6～9名とする。ハイパーエイジ(男子)の選手名簿に年齢を記載する。  
(3) 上記(1)と(2)の選手を兼ねることはできない。また、監督・コーチ・マネージャーのうち、選手として出場する者は選手人数に含める。  
(4) 申込後の団体戦のメンバー変更は代表者会議において要請できるが、選手の追加並びに他の団体種目への移動は認めない。また、変更者は所定の期日までに参加資格の全項目に該当する者に限る。
9. 競技規則 令和5年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。

10. 競技方法
- (1) 団体戦・個人戦ともトーナメントとし、3位決定戦は行わない。
  - (2) 男子団体・女子団体の対抗戦は、複2・単1をもって構成し、試合順序は複1→単→複2とする。ただし、同一対抗戦で同一選手の出場は1試合とする。
  - (3) 男子成壮年・女子壮年の団体戦は、50歳以上・40歳以上・30歳以上の複3を持って構成し、試合順序は回戦ごとに入れ替える。ただし、同一対抗戦で同一選手の出場は1試合とする。
    - 1回戦は、50歳以上—40歳以上—30歳以上の順
    - 2回戦は、40歳以上—30歳以上—50歳以上の順
    - 3回戦は、30歳以上—50歳以上—40歳以上の順
 以下順次繰り上げて行う。
  - (4) ハイパーエイジの団体戦は、ペアの合計100歳以上・110歳以上・120歳以上の複3をもって構成し、試合順序は回戦ごとに入れ替える。ただし、同一対抗戦で同一選手の出場は1試合とする。
    - 1回戦は、120歳以上—110歳以上—100歳以上の順
    - 2回戦は、110歳以上—100歳以上—120歳以上の順
    - 3回戦は、100歳以上—120歳以上—110歳以上の順
 以下、順次繰り上げ
  - (5) 団体戦は初回戦のみ3試合を行うが、その後はすべて2試合先取で打ち切りとする。
    - ※ 勝敗決定後はオーダーメンバーチェンジを認める。
11. 使用器具 (公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和5年度第1種検定合格水鳥球を使用する。  
 使用シャトル ヨネックス株式会社 トーナメント、ミズノ株式会社 SCYCROSS EX、  
 株式会社ゴーセン NEO FEATHER PLATINUM プラチナ、株式会社VICTOR SPORT マスターエース
12. 参加資格
- (1) 日本教職員バドミントン連盟会員であること。  
 「各都道府県を通じて(公財)日本バドミントン協会に登録した者で、大会申込期日までに日本教職員バドミントン連盟に加盟した者」
  - (2) 年齢制限は、令和5年4月1日における満年齢をもってする。
  - (3) 個人戦の複は、同一都道府県であること。
  - (4) 個人戦の種目では若い年代の選手とダブルスに出場する場合は若い年代の方に出場すること。
13. 組合せ (公財)日本バドミントン協会指名のレフェリー(競技役員長)もしくは、デビュテイーレフェリー(競技審判部長)の指示のもと、北海道教職員バドミントン連盟との間で厳正に執り行う。  
 組合せ日程7月1日(土)に北海道札幌市で行う
14. 参加料
- (1) 団体1チーム25,000円(内5,000円は派遣審判費用に充当する)  
 個人1人1種目5,000円(内1,000円は派遣審判費用に充当する)とする。
  - (2) 日本教職員バドミントン連盟表彰規程により、表彰積立金として1人1,000円を申込と同時に納入すること。
  - (3) 保険料として1人100円を申込と同時に納入すること。

15. 申込締切

令和5年6月9日(木) までとし、[正]・[副]それぞれ下記宛先に必着のこと。

16. 申込先

※大分県内で取りまとめて提出します

大分県教職員バドミントン連盟 事務局

堀田文雄

メール：ayaohorita@gmail.com

17. 申込方法

(2) 申込の際、「参加料」「表彰積立金」「保険料」を一括して、下記の送付先に振込み、振込用紙の写しを添付すること。

振込先

大分銀行 判田支店 普通預金

口座番号 175889

大分県教職員バドミントン連盟 松本芳郎

18. 服装

- (1) 試合で色付着衣を使用する場合は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
- (2) 背面中央に漢字で明瞭に判断できる色で書かれた都道府県名のみを、横30cm、縦15cmの範囲に明示する。また、明示した布をピンで固定する場合、四隅を止めること。なお、文字列の大きさについては、大会運営規程第24条によること。

19. 表彰

- (1) 各種目優勝者に優勝杯(持ち回り)、賞状、(公財)日本バドミントン協会金メダル、副賞を授与する。
- (2) 各種目2位・3位には賞状・(公財)日本バドミントン協会メダルを授与する。
- (3) 総合優勝制度により、本大会において優秀な成績をあげた都道府県を表彰する。
- 1位に、文部科学大臣杯(持ち回り)・および 楯(持ち回り)・賞状を授与する。
- 2位から4位に楯(持ち回り)・賞状を授与する。5位から10位に賞状を授与する。

20. レセプション

日時 8月22日(火) 18:30

会場 札幌東急REIホテル

〒064-8509 札幌市中央区南4条西5丁目1番 Tel. 011-531-0109

21. 大会事務局

〒004-0874 北海道札幌市清田区平岡4条6丁目13番1号 北海道札幌平岡高等学校内

第62回全日本教職員バドミントン選手権大会事務局 後藤 貴宏 宛

Tel. 011-882-8122 携帯 090-8428-5172

22. 宿 泊 別紙宿泊要項による。

23. 備 考
- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、(公財)日本バドミントン協会の「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントンガイドライン」を基に大会を開催いたします。
  - (2) 本大会の成績に基づき作成されるランキング中、個人戦一般の部各種目2位以内にランクされた者には、令和5年度全日本総合選手権大会への出場権が与えられる。  
また、3位にランクされた者には、同大会の予選への出場権が与えられる。
  - (3) 事故等があった場合には、応急処置は行うが、その後の責任は各参加者の負担とする。  
参加者は健康保険証を持参のこと。
  - (4) 本大会の詳細・速報等を、下記ホームページに随時掲載します。

日本教職員バドミントン連盟ホームページ

<http://www.jef-badminton.jp/>



北海道バドミントン協会ホームページ

<https://hokkaido-badminton.com>



- (5) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。
- (6) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
- (7) (公財)日本バドミントン協会環境委員会よりお願い。
  - ①ゴミの分別収集に協力して下さい。
  - ②宿泊先の部屋から出るときにはエアコン・テレビ・ライトのスイッチを消して下さい。
  - ③マイ歯ブラシを持参して大会に参加して下さい。

以上